

【議事メモ】平成 28 年度 第 1 回来訪者受入環境整備ワーキング

日時：平成 28 年 5 月 31 日(火) 13 時 30 分～15 時 20 分

会場：神奈川県行政書士会 大会議室(産業貿易センタービル7階)

参加者：36 団体 44 名

冒頭、財団事務局挨拶の後、アドバイザー2名の紹介および参加者全員の自己紹介を行う。(13:30～14:00)

1 YCVB からの報告

(14:00～14:20)

・平成 28 年度 来訪者受入環境整備ワーキングについて

観光案内所での 27 年度取扱実績(国籍別順位)や市内外国人延べ宿泊数をもとに、「インバウンド受入れ機能強化」および「横浜観光情報の露出拡大に向けた取組み」の2テーマを説明する。

ワーキング参加事業者には、一方通行の会ではなく、双方向のコミュニケーションを通じて財団活動に積極的に意見を言ってほしい旨を特にお願した。

・多言語対応強化について

28 年度の新機軸である「飲食店メニューの多言語化支援」および「市内事業者ウェブサイト等の翻訳支援」をはじめ、財団ウェブサイトを整備した 27 年度事業の成果物の更新・拡充、セミナーや出張説明会の実施を計画している旨を説明した。

・民間案内機能強化および事業者連携企画創出事業について

6 月 1 日からスタートする「横浜トラベルインフォスポット」は、約 80 箇所の店舗・施設様にご登録をいただいている。横浜観光資料の配架協力をはじめ、財団と協力して来訪者受入のレベルを上げていきたい。

事業者連携企画創出事業は 3 件の応募をいただき、5 月 30 日に審査会を開催した。審査結果および対象事業については、28 年度第 1 回目の事業推進連絡会の場で発表を予定している。

2 ワーキング

(1)プレゼンテーション

(14:20～15:05)

「多言語音声翻訳アプリ『VoiceTra』の内容と活用事例について」

総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 研究推進室 課長補佐 中川 拓哉様

・英語では、特に医療用語のニーズが高い。

(ニーズの高い分野の訳語は、精度が高くなっている。)

・使ううちに、吹き込む日本語にもコツが必要だと分かった。

業務フローを洗い出し、その中で VoiceTra の活用方法を考えて、実際に試してうまくいった文を履歴として保存したりすることや、将来的にはサーバーに「定型文」として辞書登録を行うと効果的である。



東京メトロ様の事例 その1

お客様「買い物をしたいのですが、どこへ行けばいいですか？」

駅員「この近くですと、銀座がございます。」

→ この文章だけでは質問内容が不明なので、「ここは銀座に近い」という意味に翻訳されてしまった。

→→ 「買い物には銀座が便利です」という日本語に変更したら、伝えたい内容が翻訳された。

東京メトロ様の事例 その2

駅 員「秋葉原駅で、お客様のカメラに近いものが見つかりました。」

→ 「近いもの」という細かいニュアンスの翻訳がうまくいかなかった。

→→ 「秋葉原駅で、お客様のカメラが見つかりました。」という日本文に変更した。

- ・日本全国にある「同じ町名」や方言への対応などは共通語の日本語に影響を及ぼすことがあり、慎重な対応が求められる。

例)「自分」→関西地域では「相手(you)」を指す。「なおす」→関西地域では「片付ける」の意味

- ・翻訳システムを実際の社会に使うにあたって必要な4つの技術課題(雑音抑圧技術、位置情報に則した翻訳精度向上技術、翻訳自動学習技術、特殊文字認識技術)について研究開発を実施する。2020年までに社会で実際に使われている状態(社会実装)を目指す。

(2) 質疑応答

(15:05~15:20)

- ・VoiceTra を法人が商業利用する場合の注意点を教えてください。

→NICT(国立研究開発法人 情報通信研究機構)と覚書を締結することが必要となる。

(覚書の主な内容)

- ・翻訳結果の免責に同意すること
- ・ビジネス利用へと移行する前段階として期限を区切って「お試し利用」として無償利用すること
- ・VoiceTra の利用者について、日本人と外国人の比率はどの程度か？
→日本人の利用に力点を置いている。例えば Google や skype は日本語に特化していないので、広く浅くの翻訳となる。まずはインバウンド対応をする日本人の方に使っていただき、それをご覧いただいた外国人の方から「いいアプリだね」ということにつながれば、外国人の方にも使っていただく取組みとしたい。
- ・VoiceTra を利用する際はネットワークを介しての利用になると思うが、携帯電話とWi-Fiではどちらが良く使われているか？
→携帯電話 LTE でも Wi-Fi でもどちらでも使われている。

ワーキング終了後、総務省様への個別質問や参加者同士の名刺交換が行われた。

(15:20~15:50)

平成28年度 第1回来訪者受入環境整備ワーキング参加者名簿

No	組織名	備考
1	アサヒビール(株)	
2	(株)イージェーワークス	
3	(株)AD COMMUNICATIONS	2名参加
4	(株)カリーナ	2名参加
5	京浜急行電鉄(株)	
6	(株)西武プロパティーズ	
7	相鉄企業(株)	
8	(株)高島屋 横浜店	
9	凸版印刷(株)	2名参加
10	(株)ぱど	
11	(公財)帆船日本丸記念財団	
12	(株)ビーマップ	2名参加
13	東日本電信電話(株)	アドバイザー
14	(株)ヒト・コミュニケーションズ	
15	(株)フォルマーデザイン	
16	藤木グループ	アドバイザー
17	ホテルニューグランド	
18	ホテルモントレ横浜	
19	(株)まちづくりプラットフォーム	
20	三井不動産商業マネジメント(株) 三井アウトレットパーク横浜ベイサイド	
21	三菱地所(株) 横浜支店	
22	YAMAGATA(株)	2名参加
23	ヤマト運輸(株) 神奈川主管支店	
24	(株)横濱おもてなし家	
25	横浜港大さん橋国際客船ターミナル	
26	横浜高速鉄道(株)	
27	(公財)横浜市芸術文化振興財団	
28	横浜シティ・エア・ターミナル(株)	2名参加
29	(公財)横浜市緑の協会	
30	(株)横浜八景島	2名参加
31	横浜ベイシエラトンホテル& Towers	2名参加
32	(有)ライフウェア・サービス	
33	横浜市文化観光局	
34	野毛飲食業協同組合	オブザーバー参加
35	(一財)首都高速道路協会	オブザーバー参加
36	NPO法人 道と人のネットワークス	オブザーバー参加